

## 尾州有楽流 教本

### 【基礎編】

#### II 服装について

紳士のスポーツとされるゴルフで品位を損なわない服装が求められるように、日本の最上層階級で育まれた茶道でも、茶の湯の品格を損なわない服装が求められます。

とにかくだのような場合であれ、以下の事項は厳守してください。

- \* 着物の場合は白足袋、洋装の場合は靴下を着用すること。履き古した物は論外。
- \* 貴金属類は身につけない。時計、装飾品(ネックレス、イヤリング、ピアス、指輪)など。  
※服飾品以外でも、茶席内に貴金属類は持ち込まない(携帯電話、金属製の筆記用具、など)
- \* 爪は短く切り、余計な装飾は加えない。
- \* 男女問わず、髪は適宜にセットし、点前等の邪魔にならないようにまとめておくこと。
- \* 和装・洋装問わず、ある程度の格式と清潔感のある装いであること。
- \* 和装・洋装問わず、服装の格が上がるに従って、メイクもしっかりすること。特に女性はお稽古であろうとも、すっぴんは不可。

#### ① お稽古の場合の服装

男女とも、着物のほうが望ましいです。(お点前が着物着用を前提としているため)

お稽古の着物は、男女とも格の低いもので構いません。(男性ならば紬や無紋(家紋の無い)の色無地、女性ならば紬や小紋)

夏季であれば浴衣でも可です(本来、浴衣は寝巻&バスローブなので人前で着るものではないが、洋服で稽古するよりはずっと良い)。浴衣では本来は足袋を履かないですが、お稽古では必ず足袋を履きましょう。

また男性の場合、本来は浴衣では袴を付けませんが、尾州有楽流では男子は必ず袴を付けるので、お稽古でも男子は袴を履きましょう。(法体の者(僧侶)を除く)

洋装であれば、茶の湯の稽古に相応しい服装でのぞみましょう。せめて襟など付いている服装で、**T シャツ、ジーンズ、ジャージ、スウェット、などカジュアルに過ぎる服は不可です。**

白足袋か、白足袋にかわる白靴下を履きましょう。

持ち物は男女とも基礎編 I で紹介した携帯品、つまり懐紙・使い帛紗・扇子・菓子切、

などです。洋装であればこれらを懐紙入れに入れて持ち込みますし、和装であれば懐中するなどして身に付けて稽古場に入ります。

お稽古であろうとも、身だしなみを整えてのぞみましょう。

## ② 茶会のお客の場合の服装

○男性はスーツかジャケット着用。運転手付きの高級車で茶会に行くような身分でない限り、着物は着ないほうが良いでしょう。懐紙、扇子、使い帛紗を内ポケットに入れておくか、懐紙入れにでも入れて持っていきましょう。

○女性はスーツやワンピースなど、洋装ならばそれなりの格式のあるもので。着物ならば、カジュアルな茶会ならば小紋や色無地、それなりの茶会ならば色無地か付け下げ。家元での初釜など格調高い会なら訪問着や留袖。(着物の種類については中級編で詳しく解説します)

着物の格が高くなるに従い、お化粧もしっかりとしましょう。

総じて茶道の着物の時は、半襟は白です。

髪は夜会巻などにまとめておきましょう。

着物ならば懐紙・使い帛紗を懐中して、扇子を帯に指しておきます。そのほかの持ち物は数寄屋袋に入れて持っていることが多いです。洋装ならば、懐紙、使い帛紗、扇子を懐紙入れに入れて、それを更に数寄屋袋に入れて持っていることが多いです。

○男女とも、茶席に鞆類を持ち込むのは好ましくないので、荷物は最小限に減らして、男性は手ぶらか懐紙入れ程度、女性も手ぶらか数寄屋袋程度のみを持って入席しましょう。

茶事の場合のお客や、茶会や茶事での主催者側の服装(着物)については、中級編で詳しく解説します。